

# 観光



## 捕鯨文化「鯨とともに生きる」 日本遺産認定

問 捕鯨文化「鯨とともに生きる」が平成28年度日本遺産に認定されたが、誘客と周遊エリアの拡大や滞在時間の促進に向け、どう展開していくのか。

答 県は、関係団体とともに立ち上げた「熊野灘捕鯨文化継承協議会」を中心

に、国の補助金などを活用しながら情報発信や案内板の整備・日本遺産ガイドの養成、文化財の調査研究等さまざまな事業を展開し、世界遺産や南紀熊野ジオパークとの相乗効果を図りつつ、市町の域を超えた新たな観光ルートを形成することにより、熊野エリアの周遊促進と滞在時間の延長を図っています。

## NHK朝ドラ誘致の取組

問 前畠秀子さんの朝ドラ誘致について、地域の誘致実行委員会をはじめ関係者が一丸となつて取り組んでいる。県としても全面的にバツクアップしてはどうか。

答 これまででもNHKに対して、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、番組化されるよう働きかけており、先日は知事みずから糀井会長に要請したところです。今後も、



# 交通

## 地域における公共交通の現状

問 交通弱者がふえているが、路線バスなど地域における公共交通や、それを補完する交通手段確保の取組の現状はどうか。

答 乗り合いバスの利用者はピーク時の18・6%に減少し、バス路線の廃止数は平成25年度から27年度で34路線となっています。県ではバス路線維持のため、複数の市町村をまたぐ広域的・幹線的なバス路線に対し国と協調し補助を行っています。また、平成28年4月現在、20市町村でコミュニティバスが運行されており、そのうち6市町では事前予約制のデマンド運行が実施されています。

## 農業共済加入促進に向けた取組

# 農林

問 共済加入促進につながる県の今後の取組は。

答 県下の各組合の果樹共

問 修学旅行は、見聞を広め、将来、社会で生きいく上でふさわしい体験を積むことを目的に実施しており、ふるさと教育や平和学習等をテーマとして取り組んでいます。外務省等を訪問することにより日本外交に輝かしい功績を残した陸奥宗光について学ぶことは、ふるさと

橋本市など地元の熱意を後押しすべく、前畠さんの人生とその偉大さについて、メディアへの露出度をさらに高めるなど、関係機関と連携し、誘致活動の支援に全力を挙げています。

## 中学校の修学旅行

# 教育

問 中学校の修学旅行について、陸奥宗光の銅像のある外務省訪問による学習など、ふるさと教育をどう考

## 青少年のSNS利用

問 今日の情報化社会でスマートフォンを利用しないことは不可能である。ルールを守った上での安全な使用についてどのように教育していくのか。

答 これまで情報モラル教育を進めてきましたが、今後も青少年関係部局と連携して、全ての生徒指導担当教員を対象に研修会を実施



誇りを持ち、先人の偉業を知る上で大変意義深いものであります。今後も、県内外で実施する体験活動を通して、ふるさと和歌山のよさを知り、生徒の見識を深める学習活動を進めています。

問 マートフォンを利用して、地域の各医療機関との機能分化・連携を図りつつ、べき地・救急医療など地域で必要とされる治療を提供する責務があると考

えていきます。地域の医療関係者等で構成する協議の場を設置し、橋本医療圏でも公立病院を含めた病床機能の役割分担について検討していきます。

## 和歌山県地域医療構想

# 健康・医療

問 奈良県では、南和地域の公立病院を病床機能により役割分担したが、橋本医療圏でも考えてはどうか。

答 各医療圏は、公立病院が

中心的な役割を担っており、今後も地域の各医療機関との機能分化・連携を図りつつ、べき地・救急医療など地域で必要とされる治療を提供する責務があると考

## 森林環境の保全整備

# 文化

問 森林が財産として評価され、収入につながれば、自然に森林整備が進むと考

えるのか。

答 日本の人口は今後、減少

し、各学校での指導の中核となる教員を育成していくます。さらに、指導用の資料を作成し、全ての教員が子供たちに正しい知識と安全な利用を指導できるよう支援していきます。また、学校と家庭が一致協力して子供たちを守る取組を進めていきます。

問 森林が財産として評価され、収入につながれば、自然に森林整備が進むと考

えるのか。

答 各該施設で開催される文化事業には、積極的に情報を発信していきます。文化団体が行う文化事業については、内容により助成事業も用意しています。施設は岩出市が管理運営しますが、活用のために必要な改修は県で行うとともに、岩出市と十分連携、文化団体等の自主イベントの開催実現に向け、積極的な情報提供などの協力をしています。

問 文化事業について、県はどう協力するのか。また、今後の利活用についてどう取り組むのか。

答 当該施設で開催される文化事業について、内容により助成事業も用意しています。施設は岩出市が管理運営しますが、活用のために必要な改修は県で行うとともに、岩出市と十分連携、文化団体等の自主イベントの開催実現に向け、積極的な情報提供などの協力をしています。